

# 平成29年度全国学力・学習状況調査

## 林間小学校の結果報告



※平成29年度全国学力・学習状況調査の問題については、右のQRコードからご確認できます。

今年4月に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。林間小6学年全体の大まかな結果についてお知らせします。今回の結果を受けて、今後の学習面・生活面の指導を充実させてまいります。

### ■全国学力・学習状況調査とは？

小中学生の学力や学習状況を把握するために文部科学省が実施する調査。平成19年度(2007)から、小学6年生と中学3年生の児童生徒を対象に行われています。内容は国語、算数の学力テストと、生活習慣・学習環境に関するアンケート調査からなります。学力テストは、**基礎・基本的な知識・技能をみるA問題**と**その活用する力をみるB問題**があります。普段、教室で行うテストとは違い、問題用紙と解答用紙は別となっています。なお、この調査により測定できるのはあくまで、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることに留意して結果を活用していきます。

### ■学力テストの結果

全国平均と比べて特に目立った結果(±5ポイント程度の差があるもの)と今後の対策をまとめてみました。

【国語】A問題、B問題ともにだいたい全国平均とほぼ同じレベルにあります。学習指導要領の内容別では、A問題で「話すこと・聞くこと」、「読むこと」が全国平均を上回っていますが、その他では、A・B問題ともに下回っています。

#### ○ よくできていた問題

(A問題 第1問) 学級文集のタイトルを決める話し合いの場面が示され、その中で、ある児童の報告のしかたについて、適切な説明をしているものを選ぶ4択問題

(A問題 第4問の1) 小林一茶の俳句「雪とけて くりりしたる 月夜かな」の情景についての話し合いの場面が示され、「くりり」という言葉は月のどんな様子を表しているかを選択する4択問題。正解は、「まんまるい様子」でした。

(B問題 第2問の1) あるクラスで作られた「緑のカーテン作りへの協力のお願い」という文章を読み、緑のカーテンが必要な理由を伝えるために、どんな構成の工夫をしているかを選択する4択問題。

#### ▼ あまりよくできていなかった問題

(A問題 第6問) 歌舞伎の「外郎売(ういろうり)」という作品を音読して気がついたことで、正しい説明を選ぶ4択問題。

(A問題 第7問) 漢字を正しく書いたり、正しく読んだりする問題。例えば、「参加たいしょう」→「対象」と書けていなかったり、「申し込み期限」→「きげん」、「事務室」→「じむしつ」と読めなかったりする児童が多かったです。

(B問題 第1問の2) 外国の人たちに「折り紙」について紹介するためにスピーチを練習している場面で、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて、40文字以内で文章で解答する問題が書けていませんでした。

(B問題 第3問の3) あまんきみこ作の「きつねの写真」という作品について、登場人物の松ぞうじさんが とび吉をきつねだと考えたわけを100文字以内でまとめて書く問題でも、自分なりの考えを書ける児童が少なかったです。

#### ◎ 今後の対策は？

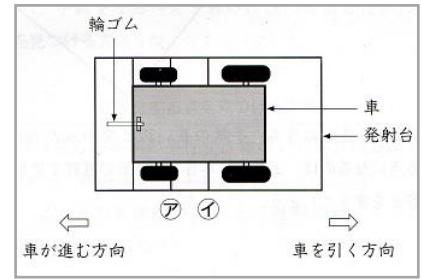
※全国学力学習状況調査の問題解答は、右のQRコードで見ることができます→

- ・国語の基礎基本である漢字の読みや書きをこれからも引き続きしっかり指導していきます。
- ・古典教材の音読やスピーチメモを活用して発表する活動を取り入れていきます。
- ・正しい答えや自分の考えを決められた文字数の枠の中で書く活動を取り入れていきます。

【算数】B問題の正答率は、全国平均と比べてほぼ同じレベルでしたが、A問題は下回っている結果となりました。

◎ よくできていた問題

(B問題 第3問の1) 右の図のように輪ゴムを使っておもちゃの車を5回動かします。その時、2回目だけ失敗して記録を正しくはかぎることができませんでした。この場合、どのような式で平均を求めるのかを選ぶ4択問題。ほとんどの児童は正解で、(1回目+3回目+4回目+5回目)÷4 でしたが、2回目の数値を入れた式や5で割ってしまう式を選んだ児童もわずかながらいました。



▼ あまりよくできていなかった問題

(A問題 第2問) 以下の基本的な計算問題。(1)  $123 \times 52$ 、(3)  $6 + 0.5 \times 2$ 、(4)  $5 \div 9$  の商を分数で表す。(1)は、単純な計算ミス。(2)は、かけ算を先に行うのを忘れているミス。(3)は、9分の5以外の解答をかいた児童が多かったです。

(A問題 第3問) 「8と12の最小公倍数を求める問題」正解は24ですが、96や48などとした解答が見られました。

(A問題 第9問の2) 家でイヌやネコを飼っているか13人の人に聞いた結果をまとめた右の表を見てください。この表中の「オ」の枠の数値を解答する問題。問題文の初めに「13人に聞いた」とあるので、「13」が正解ですが、26や11などの解答が見られました。

		ネコ		合計
		○	×	
イヌ	○	ア	イ	
	×	ウ	エ	
合計				オ

○…飼っている  
×…飼っていない

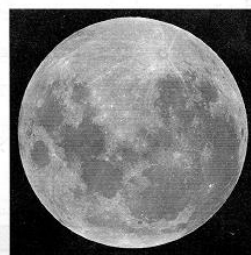
(B問題 第4問の1) 4年生以上の学年でハンカチとティッシュを持ってきているか調べた結果をまとめた表について、指定された枠の数値の意味を問う問題。

(B問題 第5問の1) 月が見かけ上、大きさが変化するという現象について、「最少の時の満月の直径」をもとにすると最大の時の直径が14%長くなるそうです。「最少の時の直径」をもとにすると「最大の時の直径」を表しているのは、下のグラフの中でどの番号かを解答する問題。正解は、「3」です。本校では、「4」と解答する児童もかなりいました。

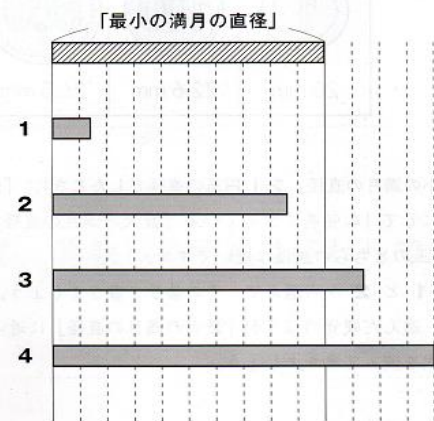
「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いです。



最も小さく見えるとき (イメージ)



最も大きく見えるとき (イメージ)



◎ 今後の対策は？

- ・たし算やかけ算がまじった整数と少数の計算方法など、基本的な計算について、繰り返し指導していきます。
- ・いろいろなタイプの問題を活用しながら、最少公倍数の意味を理解させ、解答できるようにしていきます。
- ・目的に応じて資料を集めた結果を表やグラフに分類整理する活動、反対に、まとめられた表やグラフを読み取る活動を算数だけでなく社会科や理科など他の学習でも取り組ませていきます。
- ・示された割合をもとに、もともになる量と比べられる量の関係をとらえることができるよう指導していきます。

■生活習慣・学習環境に関するアンケート調査の結果

アンケート調査は、児童の自己評価で、質問項目は、全部で92問。ここでは、①学習および学校生活について、②生活習慣および家庭生活について、③自分および社会に関する関心や規範意識に分けて示していきます。

【学習および学校生活についての項目】 ※枠の中の（ ）はアンケートの質問番号を示す。上位ほど顕著な傾向。

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(33) 学校に行くのは楽しい (49) 学校のきまりを守っている ( 8) 友達の話や意見を最後まで聞くことができる ( 9) 友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つ (83) 算数で学習したことを生活の中で活用できないか考える	(62) 学習内容を振り返る学習をよく行っていた (61) 授業の中で目標が示されていた (63) ノートに、学習の目標とまとめを書いていた (66) 感想文や説明文を書くことは難しい

◎(33)「学校に行くのは楽しい」は、全国と比べて18ポイント、(49)「学校のきまりを守る」も16ポイント高く、安定した生活ができているようです。学習活動については、「友達の考えを最後まで聞く」、「自分の考えを持つ」などがよくできていると自己評価しています。▼課題としては、(62)(61)(63)は毎日の授業中の活動です。特に(62)の「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行う」は、全国と比べて13ポイントも低くなっています。これらは、学校では行っても児童には実感されていないということなので、授業実践を行っていく上で大きな課題です。今後は、「授業の目標の明示」、「授業の最後のまとめと振り返り」などの活動を大切にしていきます。(66)は、長い文章を書いたり、国語B問題にあったように決められた文字数の枠の中で解答したりすることができていないので、今後は「書く活動」も授業の中でできるだけ取り入れていきます。

【生活習慣および家庭生活についての項目】

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(25) 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている (28) 家の人は授業参観や運動会などの学校の行事に来る (24) 家の人と学校での出来事について話をする (26) テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている (30) 家で、学校の宿題をしている	(19) 昼休み時間や休みの日に図書館などに週1回以上行く (21) 放課後に家で勉強や読書をする (29) 自分で計画を立てて勉強をしている (13) 普段、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンのゲーム)をする

◎(25)の「携帯電話・スマートフォン」・(26)の「テレビ・ゲーム」の利用について家で約束を決め守っていると答えた児童は、全国平均と比べ各10ポイント、7ポイントのプラスとなっています。ご家庭での一定の管理ができていることがうかがえます。(30)「家で宿題をする」も全国と比べて4%高くなっており、本校の「ふたばノート」の効果が出ているようです。(28)(24)は、ご家庭の学校に対する関心の高さを示しており嬉しい結果です。▼(19)(21)(29)では、宿題はやるが、自分で計画を立てて学習に向かう姿勢の弱さが出ています。今後は、自主学習をさらに進めていきます。(25)(26)の結果にもかかわらず、家庭におけるテレビゲームやDVD視聴時間は全国平均と比べて多くなっていることから、発達段階に応じた利用時間などの目安をご家庭と連携しながら指導していきたいと考えています。

【自分および社会に対する関心や規範意識についての項目】

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(50) 友達との約束を守っている (10) 将来の夢や目標をもっている ( 6) 自分には、よいところがあると思う (46) テレビやネットでニュースを見る	(43) 地域社会などでボランティア活動に参加する (44) 地域の大人からスポーツなど指導を受ける (52) いじめはどんな理由でもいけないことだと思う

◎(50)「友達との約束を守る」、(10)「将来の夢や目標を持つ」、(6)「自分にはよいところがある」で、いずれも全国と比べて高い結果が出ています。交友関係、未来への希望、自己肯定感など好ましい結果です。(46)の「ニュースを見る」は、社会への目が育ってきていることを示しています。▼(43)「地域でのボランティア活動」は、全国と比べて実に20%も低くなっています。(44)とも関連して、今後は地域の運動会や夏休みの球技大会などへの参加も推奨していきます。(52)のいじめについては、ほとんどの子どもは絶対いけないものと考えていますが、残りの13%の児童が「絶対とは思わない」と答えています。今後は100%を目指し、道徳・人権教育の充実を図っていききたいと考えています。